

情報提供日	令和5年(2023年)4月11日(火)
問い合わせ先	広島市植物公園 管理課 中原、富澤 栽培・展示課 山本、山森 TEL 082-922-3600

江戸の園芸文化を今に伝える サクラソウ展を開催

展示会名：サクラソウ展

開催場所：広島市植物公園 屋外展示場

開催期間：令和5年4月15日(土)～4月19日(水)

開催時間：午前9時～午後4時30分(最終日は午後3時30分まで)

展示概要：江戸時代から伝えられている貴重な園芸品種をはじめ、全国から集められた野生種とあわせて約200点を展示します。また、野生植物を植栽している里山の野草園では、自生に近い状態でサクラソウを紹介します。

臨時売店：期間中、会場にてサクラソウの販売があります。

江戸時代から人々を楽しませてきた、さまざまな花色や花形の変化に注目しながら、サクラソウをご覧ください。



江戸の園芸事情を解説するパネルとともに展示



サクラソウ「日の丸」

サクラソウとは？

サクラソウ(学名：*Primula sieboldii*)は、中国大陸東北部から朝鮮半島、日本にかけての冷涼な湿原に生える多年草で、ヨーロッパ原産のセイヨウサクラソウや中国原産のマラコイデス、オブコニカと区別するため、ニホンサクラソウ(日本桜草)とも言われます。日本の古典園芸植物を代表する存在の一つで、江戸時代に栽培が盛んとなり、自生のものでは、埼玉県さいたま市桜区田島ヶ原のサクラソウの大群落が、国の特別天然記念物に指定されて大切に保護されているほか、広島県内にも自生地が残されています。



里山の野草園のサクラソウ

開園時間 午前9時から午後4時半まで(ただし、入園は午後4時まで)
入園料 大人510円、65歳以上・高校生170円、中学生以下無料
休園日 毎週金曜日